

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-1-1	事務事業名 シルバー人材センター運営費補助	所管部課 福祉部 生活福祉課
----------------	--------------------------	----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業開始時期	平成13 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		55,149	54,609	47,433	46,538
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		12,495	12,495	12,495	12,495
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		42,654	42,114	34,938	34,043
所要人員(B)	人	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,212	1,225	1,155	1,235
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	56,361	55,834	48,588	47,773
単位当たりコスト (E)=(D)/(会員数)	千円	43	43	37	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①補助金交付額	実績値 円	55,149	54,609	47,433	46,538
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 補助金交付額は、決算額又は予算額					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 会員数	目標値 人				1,331
	実績値 人	1,296	1,311	1,299	
二 民間受注比率	目標値 %				42
	実績値 %	40	41	41	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 会員数は、年度末の人数 民間受注比率は、全契約金額に対する民間契約金額の割合					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	なし
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成23年度決算額より、会員数が近い6市のうち、補助金額は4番目、契約金額に占める補助金の割合は、2番目であった。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 人材派遣業が類似する業者となるが、シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を与えることにより生きがいの推進に努めている点で異なる

事業コード 5-1-1	事務事業名 シルバー人材センター運営費補助	所管部課 福祉部 生活福祉課
----------------	--------------------------	----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>センターは、発足以来、高齢者に対して就業の機会を提供することで、高齢者が健康を保持しながら、生きがいを持って生活できる環境づくりを進めており、地域社会に貢献する働きをしている。</p> <p>平成23年度に公益社団法人化し、さらに社会貢献活動にも積極的に取り組む姿勢が求められる。</p> <p>国からの交付金が抑制される中、その減額分を市に転嫁することなく、自主財源の活用を図っていることから、一定の努力は垣間見られる。</p> <p>引き続き会員に広く就業の機会を与えるよう受注確保に努めるよう協議していく必要がある。</p> <p>景気低迷から個人・法人の事業者からの受注が伸び悩む中、公的機関からの受注金額が半数を占めている。平成23年度から家事援助の分野に就業の機会を見出ししており、このような状況への対応を働きかけて行く。</p> <p>法人として、適正な組織運営を図り、自立的運営基盤の確立への取組を強化していくことはもちろん、会員の資質向上と主体的な運営参画にも努めるよう指導を図る。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>平成23年度の公益法人化に伴い、社会貢献活動への積極的な取組と自立的な運営基盤の確立がより一層求められる。景気低迷により民間受注比率が伸び悩む中、家事援助分野に活路を見出そうとするなど、法人独自の努力も見られるようであるが、事務局の組織体制や職員のスキルアップなど法人の運営に関わる内容にも積極的に関与する姿勢を示す必要がある。</p> <p>提供するサービスの内容が民業と競合することはやむをえないところであるが、安心感や親しみやすさなどシルバー人材センターならではの魅力を積極的に広報するなど側面支援のあり方を検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>シルバー人材センターは、高齢者の就労の場の確保を通じて健康的で生きがいのある生活環境の整備を目的とした公益社団法人であり、社会貢献活動への積極的な取組みが必要である。</p> <p>公益社団法人として自立的な運営基盤の確立が求められているが、平成24年度の補助金の占める割合が9.1%と高くなっており、自主財源の確保に向け就労の機会の拡充に努める必要があり、将来展望を踏まえた組織体制や人材育成等の運営面での支援等についても検討すべきである。</p>